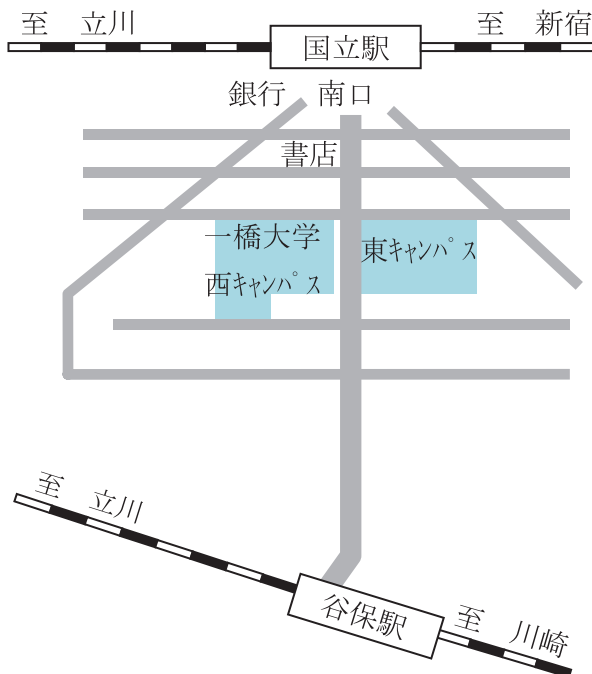


➤ 会場へのアクセスについて



■ 交通

▼ JR 中央線国立駅下車南口徒歩約 6 分

▼ JR 南武線谷保駅下車北口徒歩約 20 分、国立駅行一橋大学下車
バス約 6 分

※一橋大学へのアクセスは、次の URL アドレスをご参照ください。

<http://www.hit-u.ac.jp/guide/campus/kunitachi.html>

➤ お問い合わせについて

お問い合わせは、下記の大会準備委員会宛に郵便、FAX、または
Eメールにてお願いいたします。

日本原価計算研究学会
第 35 回全国大会準備委員会

〒186-8601 東京都国立市中 2 丁目 1 番地
一橋大学第 2 研究館 1 階 106 室
商学研究科商学研究室気付
TEL: 042-580-8564 FAX: 042-580-8747
E-mail: taikai2009@jcaa-net.org

日本原価計算研究学会
第 35 回全国大会

2009

統一論題

「サービス産業の原価計算」

2009 年 9 月 6 日（日）～9 月 8 日（火）



一橋大学
HITOTSUBASHI UNIVERSITY

ご挨拶

会員各位

盛夏の候、会員の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本年度第35回全国大会のプログラムをお届けいたします。統一論題は「サービス産業の原価計算」といたしました。従来、原価計算研究は製造業の原価計算を主たる研究対象として行われてきましたが、国民経済に占めるサービス産業の重要性は近年ますます高まり、競争も厳しくなって、サービス産業を対象とした原価計算研究の必要性が強く認識されるようになっております。しかしながら、この分野の研究はなかなか進展していないのが現状です。本大会では、その研究を促進するという観点から、製造業における伝統的な原価計算と比較しつつ、サービス産業における原価計算の特質やあり方について議論していただくことにいたしました。もう1つのメイン・プログラムである自由論題には多数のご応募をいただきました。会員の皆様の貴重な発表の機会でございますので、可能な限りの会場を設けました。また、本大会では2つの特別企画をご用意いたしました。1つは、自由論題の中に、Journal of Accounting and Organizational Changeの特集号“Management Accounting Change in Japan”とのタイアップ企画によるセッションを設けました。このセッションでは英語による発表が行われ、大会初の試みとなります。もう1つは、東京大学ものづくり経営研究センターの協力を得て「21世紀のものづくり経営と原価計算」と題する特別セッションを設けました。以上のように多彩なプログラムを準備いたしました。どうぞ万障お繰り合わせのうえ、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

つきましては、同封の返信用葉書で8月10日（月）までにご出欠のご返事をお願い申し上げます。ご出席の場合は、同封の払込取扱票にて8月28日（金）までに大会参加費等をお振り込みいただきますようお願い申し上げます。

2009年7月吉日

日本原価計算研究学会
第35回全国大会準備委員会
準備委員長 廣本 敏郎
準備副委員長 尾畑 裕
挽 文子
荒井 耕

大会全体スケジュール

9月6日（日） 一橋大学	13:00 学会賞審査委員会 14:30 選挙管理委員会 15:30 常任理事会 17:30 理事会
9月7日（月） 一橋大学	9:00～ 受付開始 9:30～11:40 自由論題報告一午前の部 （昼 食） 12:45～13:45 会員総会 13:45～16:15 選挙投票 14:00～16:10 自由論題報告一午後の部 16:30～17:30 特別セッション 18:00～20:00 懇親会
9月8日（火） 一橋大学	9:00～ 受付開始 9:15～10:45 選挙投票 9:30～12:10 統一論題報告 （昼 食） 13:30～15:30 統一論題討論 16:00～ 新旧合同理事会

理事会・学会賞審査委員会等スケジュール

9月6日（日曜日）

13:00～14:25 学会賞審査委員会（佐野書院）
14:30～15:25 選挙管理委員会（佐野書院）
15:30～17:25 常任理事会（佐野書院）
17:30～19:00 理事会（佐野書院）

9月8日（火曜日）

11:00～15:00 選挙管理委員会（本館2階）
16:00～ 新旧合同理事会（本館2階）

大会第1日目（9月7日月曜日）

9:00～ 受付開始（本館正面玄関）

9:00～ 会員控室（本館2階）

《自由論題報告一午前の部》

第1報告 9:30～10:10

第2報告 10:15～10:55

第3報告 11:00～11:40

（報告時間 30 分 質疑応答 10 分、

英語による自由論題報告 報告時間 20 分 質疑応答 20 分）

第1会場（本館3階）

司会 澤邊紀生（京都大学）

第1報告 吉田栄介（慶應義塾大学）、安酸建二（近畿大学）、
山田伊知郎（香川大学）、大浦啓輔（滋賀大学）
A Longitudinal Case Study of Target Cost Management
Implementation at a Shipbuilding Company

第2報告 北尾信夫（神戸大学大学院博士後期課程）
A Genetic Analysis of Japanese Companies' Preference for
Payback Period Method

第3報告 矢澤信雄（LEC 東京リーガルマインド大学）
Recent Research Trend and Problem of Strategic Management
Accounting in Japan

第2会場（本館3階）

司会 高橋史安（日本大学）

第1報告 園田智昭（慶應義塾大学）
企業グループが異なる数社によるシェアードサービス
ー北海道地区における酒類企業の共同配送の事例に基づいてー

第2報告 福岡誠宣（京阪電気鉄道株式会社）、加登 豊（神戸大学）、
新井康平（甲南大学）
日本企業のグループ経営における管理会計実践
ークラスター分析にもとづく経験的研究ー

第3報告 佐々木郁子（東北学院大学）、椎葉 淳（大阪大学）、
高橋邦丸（青山学院大学）
主要顧客比率が企業業績に及ぼす影響について

第3会場（本館3階）

司会 木村彰吾（名古屋大学）

第1報告 前田 陽（小樽商科大学）

日本電気における原価低減と利益管理

第2報告 諸藤裕美（立教大学）
相互依存性の複雑性増加に伴う原価企画システム設計に関する
考察

第3報告 水野一郎（関西大学）
ハイアール（海爾）のSBU管理の意義と特徴

第4会場（本館3階）

司会 横田絵理（慶應義塾大学）

第1報告 岸田隆行（駒澤大学）
戦略と予算管理の運用方法についての実証分析

第2報告 片岡洋人（明治大学）
MCSにおけるABCの役割期待

第3報告 新江 孝（日本大学）、伊藤克容（成蹊大学）
マネジメント・コントロール概念の再検討
ーコントロール手段の多様化をめぐる問題を中心にー

第5会場（本館3階）

司会 山本浩二（大阪府立大学）

第1報告 足立 洋（京都大学大学院博士後期課程）
製造部門における利益管理ー責任会計の視点からー

第2報告 望月信幸（熊本県立大学）
未利用キャパシティの利用と管理者の業績評価
ー責任会計論の観点からー

第3報告 小沢 浩（名古屋大学）
部門別計算における部門概念の変容

第6会場（本館3階）

司会 小林啓孝（早稲田大学）

第1報告 庵谷治男（早稲田大学大学院博士後期課程）
ホテルにおけるサービスの原価企画の可能性

第2報告 目時壮浩（早稲田大学大学院博士後期課程）
公共サービスにおける原価企画の適用可能性

第3報告 荒井 耕（一橋大学）
日本医療界における診療プロトコル開発活動を通じた医療サー
ビス原価企画の登場ーその特質と支援ツール・仕組みの現状ー

11:40～ 昼食休憩

12:45～13:45 会員総会（兼松講堂）

13:45～16:15 選挙投票（本館2階）

《自由論題報告—午後の部》

第1報告 14:00～14:40

第2報告 14:45～15:25

第3報告 15:30～16:10

（報告時間30分 質疑応答10分、

英語による自由論題報告 報告時間20分 質疑応答20分）

第1会場（本館3階）

司会 古賀健太郎（一橋大学）

第1報告 浅田拓史（京都大学大学院博士後期課程）、
上總康行（福井県立大学）

The Evolutionary Process of Management Accounting Practice :
A Case Study in a High Technology Company

第2報告 中川 優（同志社大学）、澤邊紀生（京都大学）、
藤野雅史（日本大学）

Organizational Culture and Management Accounting Effectiveness:
Evidence from a Japanese Manufacturing Company

第3報告 挽 文子（一橋大学）

The Role of the Management Philosophy in Management Process

16:10～16:25 全体コメント（英語セッション—午前・午後）

Chris Akroyd (University of Auckland, 特集号責任編集者)

Robert Chenhall (Monash University)

加登 豊（神戸大学、特集号責任編集者）

第2会場（本館3階）

司会 小菅正伸（関西学院大学）

第1報告 渡邊章好（東京経済大学）

環境の変化に対応した予算編成の効率性

第2報告 吉田栄介（慶應義塾大学）、

妹尾剛好（慶應義塾大学大学院博士後期課程）

日本企業における業績・予算管理の利用に関する実証研究

第3報告 小沢 浩（名古屋大学）

予算利用時の業績平準化行動と簿外売上のマネジメント

第3会場（本館3階）

司会 清水孝（早稲田大学）

第1報告 岡田幸彦（筑波大学）

わが国サービス産業における原価情報の利用に関する現状と課題—わが国全上場サービス企業へのアンケート調査（2008年）をもとに—

第2報告 新井康平（甲南大学）、大浦啓輔（滋賀大学）、

北田皓嗣（神戸大学大学院博士後期課程）

生産管理のための利益情報

—日本企業の事業所・工場からの知見—

第3報告 吉田栄介（慶應義塾大学）、福島一矩（西南学院大学）

日本企業におけるコストマネジメント手法の利用に関する実証研究

第4会場（本館3階）

司会 中村博之（横浜国立大学）

第1報告 岡 照二（関西大学）

環境コストマネジメントにおける環境パフォーマンス指標の役割—SBSC構築に向けて—

第2報告 松岡孝介（東北学院大学）、鈴木研一（明治大学）

満足度指標の差異分析にかかわる研究

第3報告 徳崎 進（関西学院大学）

事業部価値創造のための業績評価システムについての一考察—文献研究を基礎として—

第5会場（本館3階）

司会 高橋 賢（横浜国立大学）

第1報告 陸 根孝（釜山外国語大学）、鄭 文鐘（梨花女子大学）、

李 成旭（漢陽大学）

生産能力の調整が原価非対称に及ぼす影響—国際比較研究—

第2報告 篠田朝也（北海道大学）

わが国企業の投資経済性評価の多様性と柔軟性

第3報告 中野晴之（元株式会社セントラルファイナンス）

会計情報システムに関するミドルマネジメントからの提言—「財管一致に向けた会計情報システム」の導入研究—

第6会場（本館3階）

司会 旗本智之（小樽商科大学）

第1報告 稲垣 靖（名古屋大学大学院博士後期課程）

我が国の中小企業再生における管理会計導入の意義

第2報告 岡田 真（（株式会社日本ケアサプライ）
福祉用具レンタル卸ビジネスにおける業績管理

第3報告 武井敦夫（東京情報大学）、新沼勝利（東京情報大学）
井形雅代（東京農業大学）、
大室健治（農業・食品産業技術総合研究機構）
農業ABMの研究（序説）
ー農場経営におけるABMを中心としてー

第7会場（本館3階）
司会 上埜 進（甲南大学）

第1報告 福田淳児（法政大学）
企業の製品・市場戦略の変更と管理会計担当者の役割

第2報告 細海昌一郎（首都大学東京）
知的資本に関する実証的研究

第3報告 平井裕久（高崎経済大学）、椎葉 淳（大阪大学）
併用法による企業価値評価

16:30～17:30 特別セッション（本館2階）
テーマ：21世紀のものづくり経営と原価計算

報告者
河田 信（名城大学）
藤本隆宏（東京大学）

モデレーター
廣本敏郎（一橋大学）

18:00～20:00 懇親会（マーキュリータワー7階）

大会第2日目（9月8日火曜日）

9:00～ 受付開始（本館正面玄関）
9:00～ 会員控室（本館2階）
9:15～10:45 選挙投票（本館2階）

《統一論題報告（本館21番教室）》

第1報告 9:30～10:10
第2報告 10:10～10:50
第3報告 10:50～11:30
第4報告 11:30～12:10

（報告時間35分 質疑応答5分）

統一テーマ：サービス産業の原価計算
座 長 東海幹夫（青山学院大学）

第1報告 荒井 耕（一橋大学）
サービス業における原価計算の普及阻害メカニズムとその可変性ー医療を中心とした「人対人」サービス業に焦点を当ててー

第2報告 川野克典（日本大学）
受注ソフトウェア制作の管理会計の現状と課題

第3報告 白石規哲（JR貨物）
鉄道事業における原価把握ー特に鉄道貨物事業における課題ー

第4報告 関口博正（神奈川大学）
電気通信事業の原価計算

12:10～ 昼食休憩

《統一論題討論（本館21番教室）》

13:30～15:30

座 長 東海幹夫（青山学院大学）
パネリスト 荒井 耕（一橋大学）
川野克典（日本大学）
白石規哲（JR貨物）
関口博正（神奈川大学）

15:30頃 選挙結果発表

15:30 閉会の辞 準備副委員長 尾畑 裕

連絡事項

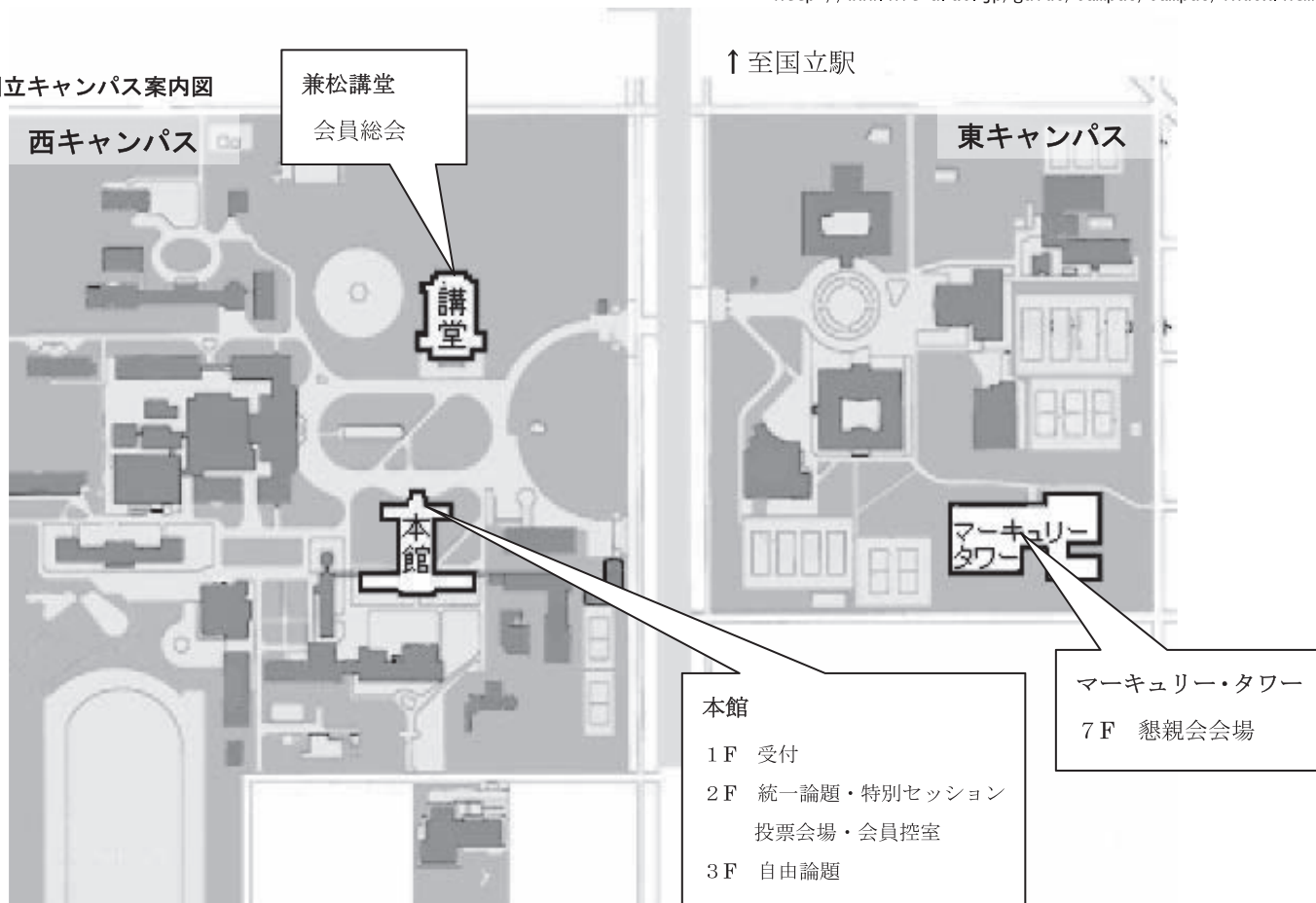
大会参加費等について

- 大会参加費等は下記のとおりです。

大会参加費	4,000 円
懇親会費	5,000 円

- ご参加の方は、同封の払込取扱票にて **8月28日（金）** までにお振り込みください。大会および懇親会へのご参加はお振込みをもって確認させていただきます。
- 領収書につきましては、郵便局で発行する「振替払込請求書兼受領証」で代えさせていただきます。なお、大会当日は、念のため、「振替払込請求書兼受領証」をご持参ください。
- お振込いただいた金額につきましては払い戻しをいたしませんのでご了承ください。

国立キャンパス案内図



昼食について

会期中は、昼食をご用意しておりません。大学周辺の飲食店等をご利用ください。

フルペーパーのダウンロードについて

事前に提出のあったフルペーパーについては、9月1日以降、順次、日本原価計算研究学会の Web サイトに PDF ファイルを掲載します。学会 Web サイトのトップページ (<http://www.jcaa-net.org/>) からリンクをたどってください。ファイルの開覧にはパスワードが必要です。パスワードは、XXXXXXXXXX です。パスワードは学会員以外には決して知らせないようお願いいたします。学会終了翌日にすべてのファイルを削除いたします。

※キャンパス案内図は、次の URL アドレスをご参照ください。

<http://www.hit-u.ac.jp/guide/campus/campus/index.html>